

北海道留寿都高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和3年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	(1)アグリマイスター顕彰制度を推奨して、農業教育の質を向上させます。 (2)農業クラブ活動を充実させ、農業教育の活性化を目指します。	A	(1)日本農業技術検定3級の合格率2年連続80%以上を目指し、各種資格取得を推進する。 (2)農業クラブの各行事で、生徒の自主的な活動を強化し、三大大行事での地域大会入賞を目指す。
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	(1)教科指導の充実を図り、国際教育の推進を図ります。	A	(1)教科間連携の環境を維持し、学校教育全体で国際的視野を広げる学習に努める。
II 地域社会・産業に 寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	(1)地域に潤いを与え、農業生産の意義を伝える農場運営を推進します。	A	(1)地域に生徒の活動を伝える機能を持った生産や販売を実施。
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	(1)地域の農業生産を理解し、生産技術の向上を図ります。 (2)実践的なICT教育を推進します。	B	(1)地域の農業の特徴他地域との違いの理解を推進する。 (2)クロームブック全生徒使用環境を生かし、情報収集の実践とモラルの向上に努めます。
	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	(1)地球環境について科学性のある教育と農業の役割についての学習を推進します。	A	(1)農業のもつ環境保全機能と環境創造素材の生産をとおした理解を推進する。
III 地球環境を守り 創造する学校	⑥「食農」教育を推進します。	(1)地域機関との農業体験交流やを積極的な支援と、食農教育の実践を図ります。	A	(1)地域の教育機関の農業体験や交流を可能な範囲で支援する。また、給食センターとの連携による食育活動を実践する。
	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	(1)地域の気候や風土と関連付けた地域農業の理解の推進を図ります。	B	(1)地域の自然を知り、誇りと愛着を持てる教育に努めます。
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	(1)地域の行事に積極的に参加し、地域との交流を深めます。 (2)福祉施設、高齢者への支援活動を積極的に推進します。	B	(1)地域の行事へ可能な範囲で参加し、学校教育内容の地域への理解と、地域の活性化に努めます。
IV 地域交流の拠点 となる学校	⑨「地域交流の拠点となる」教育を行います。	(1)地域の行事に積極的に参加し、地域との交流を深めます。 (2)福祉施設、高齢者への支援活動を積極的に推進します。	B	(1)地域の行事へ可能な範囲で参加し、学校教育内容の地域への理解と、地域の活性化に努めます。
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	(1)地域及び学校防災マニュアルを基に、防災意識を高める教育を展開します。 (2)農場施設の使用における安全教育を推進します。	A	(1)防災マニュアルに照らし合わせた農場防災マニュアル運用を目指します。 (2)使用器具、機械、工事現場等での事故の防止と安全教育を徹底します。
V 地域防災を推進 する学校	⑨機関・団体と連携した」教育を行います。	(1)地域の農業関連機関、道の駅、大学との連携を推進します。	A	(1)農福融合の理解に努め、両分野の相互理解に努める。
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	(1)地域及び学校防災マニュアルを基に、防災意識を高める教育を展開します。 (2)農場施設の使用における安全教育を推進します。	A	(1)防災マニュアルに照らし合わせた農場防災マニュアル運用を目指します。 (2)使用器具、機械、工事現場等での事故の防止と安全教育を徹底します。